



いっは いつでも あたらしく

毎日 何かしらを発見する (高村光太郎)

私にも ちよつとした新しい発見があった。
老化現象が 顕著になり、対抗してきたの
だが、この頃、自身に声をかけている 糸が ほか
なか やさしく なってきた。「あ、そこは 気をつけよ！」
とか、「あわてない びいっよ！」とか、失敗する私を
叱ったり 責めたり せずに 味方になってくれている。
そんな 自分に 助けられて うろうろ 生きている。

こんな 嫁と 暮らしている 99才 近い 母は、毎
朝 湯たんぽ や ホットを 運んで きて くれる。
何事 人 に たのんたり 世話を かけ まい と 暮ら
している。きっと 母も 今の 私 の ように、自分に 気
づかい、自分を 后かまし、自分を 肯って 生きている
のではない だろう か。 私 自身も お念仏 に よって
この 自身の 現実を 受容して 生かして いく 戦が
育てられている ように 思う。

2022年 が 惜しまれながら 去ろう として います。
そして 新しい 年の 始まり が 近づいて います。

一年間 読みに にくい 文を 読んで 下さり、あ
り がとう ござい ました。 南無阿彌陀仏

糸子 拜